

<玩具>

- ・最近では強力な磁力を持ったマグネットセットを子どもが誤飲したことにより、開腹手術が必要となった事故や水で膨らむボール状の樹脂製おもちゃの事故が複数発生しています。直径 39 mm以内の物なら、乳幼児の喉を通ってしまいます。対象年齢を確認して適切な大きさ、形状の物を与えよう。また、兄弟姉妹全体の誤飲リスクも考えて選ぶようにしましょう。

<洗剤>

- ・台所や洗面所など、水回りに置きがちな洗剤や薬品は子どもには飲み物と区別がつきません。手が届けば飲んでしまうこともあります。

<予防対策>

- ・たばこや灰皿を小児の手の届く場所に放置したり、飲料の缶を灰皿代わりにしない。
- ・小さな玩具や、薬品、化粧品、医薬品など、誤飲の恐れがあるものはすべて子どもが台や椅子を使っても手の届かない場所に閉まっておくか、あるいは鍵をかけておく。

応急処置の仕方

- ①誤飲したものを特定する。(何をどのくらい飲んだか。)
- ②口の中に残ったものをかき出す。
- ③吐かせていいものは吐き出させる。(誤飲したものにより吐かせた方がいいものと、無理に吐かせない方がいいものがある。)…注1
- ④水や牛乳を飲ませる。(誤飲したものによって水や牛乳を飲ませた方がいいものや、絶対に飲ませてはいけないものがある。)…注1
- ⑤全身状態を確認。

119 番に連絡！

- ・毒性の強いものを食べた、飲んだ。
- ・画びょうや針などのとがった物を飲んだ。
- ・ひきつけ、けいれんを起こしている。
- ・顔が真っ青で、呼吸困難に陥っている。

- ・顔色が悪い、少し息苦しそうにしている。
- ・食道や肺を傷つける恐れのあるものを誤飲した。

◎できるだけ速やかに病院へ

吐かせる・吐かせないリスト(誤飲したもの)

(注1) 一般的には毒性を薄めるために水か牛乳を飲ませて吐き出させます。しかし水や牛乳を飲ませると吸収を速める毒物や、吐かせると粘膜を傷つける薬品、気管に入って肺炎になる物質もあります。誤飲したものによって絶対に何も飲ませてはいけない物や絶対に吐かせてはいけない物があるので注意しましょう。

吐かせるもの(例)

- ・たばこ(何も飲ませない)
- ・大人の医薬品(水を飲ませる)
- ・防虫剤(ナフタレン)(水を飲ませる。牛乳は✕)

吐かせないもの(例)

- ・金属、ボタン電池、硬貨
- ・灯油、ガソリン、除光液
- (何も飲ませない)

※わからない時は、かかりつけ医や「中毒110番」にアドバイスをを受け受診しましょう。

- ・大阪中毒110番 TEL 072-727-2499 365日24時間
- ・つくば中毒110番 TEL 029-852-9999 365日午前9時～午後9時
- ・たばこ専用番号 TEL 072-726-9922 365日24時間音声応答
- ・小児救急電話相談 TEL 086-272-9939 月曜～金曜日 午後7時～午後11時
土曜、日曜、祝日、年末年始
午後6時～午後11時
- ・電話育児相談 TEL 086-803-1270 月曜～金曜日 午前9時～正午
午後1時～午後4時

◎こどもの『事故』や『日焼け』、『虫刺され』、『誤飲』など、どれも防ぐために一番重要なのは、「予防」です。特に誤飲においては、子どもの身の回りの環境を整え早いうちから安全対策をしていきましょう。

お子様の病気で困りの時にはご相談ください。

〒700-0944 岡山市南区泉田 418-25 (芳田郵便局西隣・山本医院内)

ピオーネ病児保育室 専用番号 070-6454-5205

